

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（売場主任）	・紳士服売場を8月に改装し、高級スーツを品ぞろえする。この効果で、客単価の上昇はもちろん、販売量の増加も若干期待している。
		コンビニ（店長）	・販売額が前年水準に近づきつつあることと、来客数が安定し、店内での購入時間が長くなってきている。
		家電量販店（店長）	・デジタル家電、エアコンが期待できる。
		家電量販店（店長）	・オリンピック効果で映像関係等の特需が見込まれる。また、エアコン、季節商品の動きが6月後半より始まり、7、8月と期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の発売が予定されており、販売台数増につながる。
		乗用車販売店（従業員）	・商品ぞろえがかなり良くなり、今までなかった若い女性の来客が多くなってきている。こうしたことから、梅雨明けとともに、来客数、販売台数ともに増える。
		旅行代理店（従業員）	・夏休みや秋の旅行シーズンを迎えるが、最近の予定状況を見ると、ある程度の人々の動きは期待できる。
	住宅販売会社（従業員）	・金融機関が住宅ローン金利を下げているので、住宅建設の動きが良くなる。	
	変わらない	一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・客数の減少が一向に止まらず、将来的に上昇するとは考えられない。
		百貨店（総務担当）	・進物の1人当たりの件数が、以前に比べ減っている。内祝いなど、半分返しが通例のものについても、4割の単価で返す人が増えている。
百貨店（営業担当）		・通常価格のネクタイを2、3本買っていた客も、通常価格品、パーゲン品を各々1本ずつ購入するというように、シビアな買い方が依然として続いている。	
百貨店（営業担当）		・売上高、来客数とも、前年比較で一進一退を繰り返している。また、月によって商品群の好不調の変動が大きくなっており、先行きは予想し難い。	
スーパー（営業担当）		・中元商戦で、必要な相手にしか贈らないという、昨年同様の客の購買動向を見ていると、まだまだ厳しい状態が続く。	
コンビニ（店長）		・7、8月は、客が増え、売上も上昇してくる時期だが、6月の伸びが今一つであったことから考えると、ここ何か月間の低調な流れが続く。	
衣料品専門店（経営者）		・来客数の減少が続いている上に単品買いが多く、客単価も低水準が続いている。薄手の羽織り物に少し動きがある程度で、他に売れ筋商品も見当たらない。	
家電量販店（営業担当）		・客は、快適性よりもなるべく安く抑えようとの気持ちが依然根強く、単価を上げるのが難しい状況であるが、秋に向けては多少期待感もある。	
スナック（経営者）		・来客数の動きに継続性がない。	
都市型ホテル（経営者）		・先行きの予約状況と販売単価から判断すると、前年並み実績にとどまりそうである。	
やや悪くなる	観光名所（経営者）	・第1四半期（4月～6月）の売上は前年比約20%増の伸びとなった。来期の予約も順調に入っており、今後も現在の好調さが続く。	
	住関連専門店（経営者）	・個人消費が盛り上がりつつ、将来的にも今の状態が続く。	
悪くなる	通信会社（営業担当）	・6、7月はボーナス月で大商戦を展開しているため、少し良くなるかもしれないが、それが続かず、低調な流れに戻ってしまうと推測している。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（従業員）	・新商品が発売されるので、売上が多少伸びると考えている。
		化学工業（営業所長）	・中国需要がおう盛なことから、国内での原料、資材の不足感が出てきており、客から先々の発注が入ってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・電子機器、電池原料関係の企業を始め、複数の企業から設備更新の発注が入ってきている。
公認会計士	・取引先の試算表、決算書を見ると、この半年間、前年比で徐々に良くなってきている。したがって、3か月先は現在よりもやや景気は持ち直す。		

	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・原材料の高騰が続いているが、クレーン関係では、製品価格に転嫁できる環境がなく、今後も厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・一時的にオリンピック需要はあるが、それ以上に素材関係の値上がり等があり、メーカーとしては、先行き良くなる要素が見当たらない。
		建設業（総務担当）	・民間工事は引き合い件数が増えてきているが、競争が激しく、通常の見積価格では落札できない状況がしばらく続く。
		輸送業（支店長）	・夏場の天候に大きく影響を受ける荷主や、原材料の高騰分を製品へ転嫁できない荷主が多く、先を読み切れない。
		輸送業（役員）	・主な取引先の荷動きの伸びはほぼ止まっており、しばらくこの状態が続く。
		やや悪くなる	不動産業（経営者）
雇用 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・第1四半期（4～6月）全体を通して、企業は積極的な採用を行っており、2、3か月先はこの状態が続く。
		民間職業紹介機関（所長）	・多くの企業で採用意欲が若干高まっている。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職者の増加傾向には歯止めがかかりつつあるが、求人数の伸びに力強さを感じられない。求人内容も期限付きやパート、請負求人が増加している。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は、前年比で9か月ぶりに減少に転じたが、賃金等の好労働条件を求めて求職を申し込む若年層の在職者が増加している。
学校〔大学〕（就職担当）		・求人数はほぼ例年並みで推移しているが、採用者数が伸びない状況が続いている。	
やや悪くなる			
悪くなる	-	-	